

南極から附中へ

南極観測隊員のつぶやき

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校
校長通信 第29号 令和2年5月28日



○南極観測隊員の食事（観測船 part2）

・今回は南極観測隊員が食べている食事について part2 をお話します。観測船内で開催されるイベントで食べている豪華な食事です。観測船は日本を出港した後、オーストラリア西海岸のフリーマントルという港町を經由します。ここで最終の生鮮食料品等を積み込みます。ここを出港すると観測船は約4か月間、補給がありません。



観測隊員は日本から空路パースに入り、ここから乗り込みます。オーストラリアの主要な都市は東海岸にありますが、フリーマントルは、西オーストラリア州の州都パースの近くにあります。グーグルのストリートビューである角度からみると「しらせ」を見ることができます。フリーマントル停泊中に日本人学校の子どもたちとお餅つきをします。海外で日本文化にふ

れることができる貴重な機会になっているそうです。

夜は現地の領事関係の方々をお迎えして船上レセプションを開催します。普段見たことがないとても美味しい料理が出てきます。揚げたての天ぷらや蕎麦は屋台で提供されます。



最後は、おせち料理です。以前は伊勢エビや鯛が出ていましたが、少し質素になった感じです。小さな菰樽が付いていますが、私はしっかりお土産として持ち帰りました。南極観測隊の夏季期間中の休日はありませんが、元旦だけは多くの観測隊員が休んでいます。